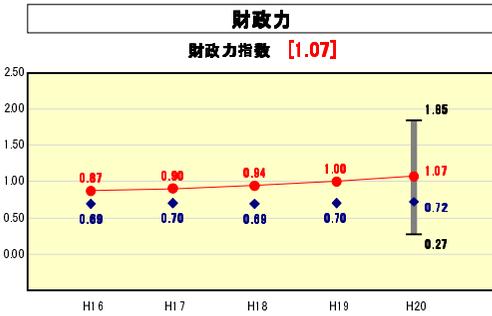
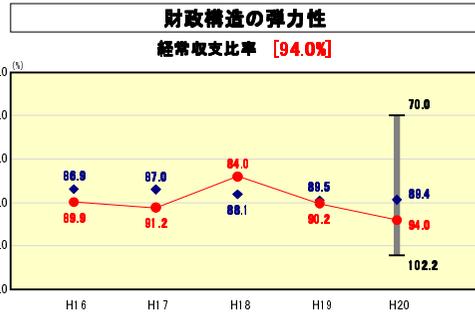


# 市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

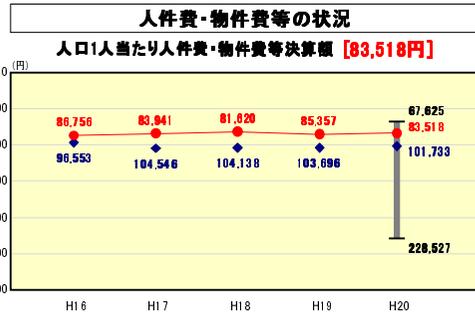


● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 9/153  
全国市町村平均 0.98  
広島県市町村平均 0.62



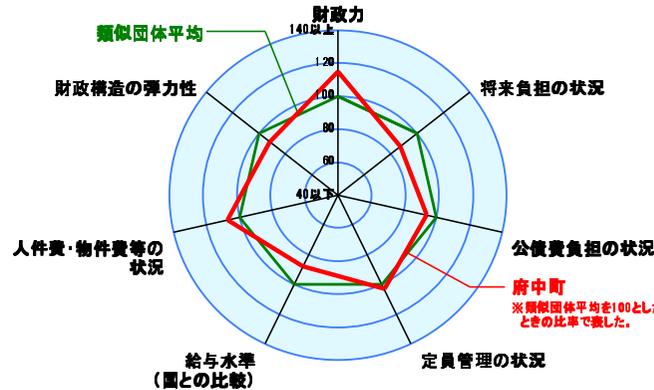
類似団体内順位 118/153  
全国市町村平均 91.8  
広島県市町村平均 93.8



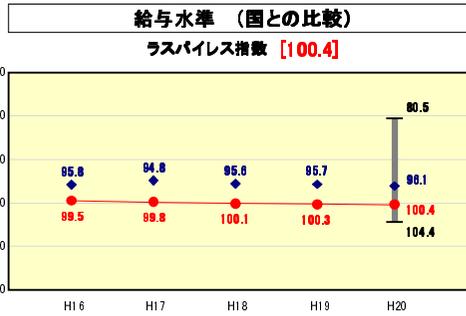
類似団体内順位 24/153  
全国市町村平均 114,142  
広島県市町村平均 122,056

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

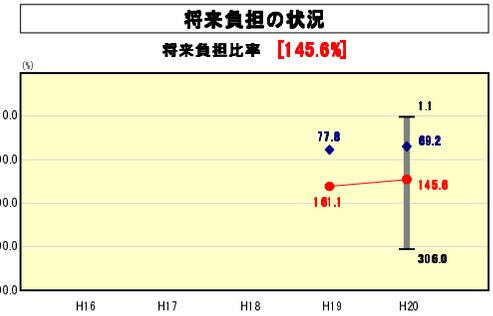
人面標準財政規模	51,019	人(H21.3.31現在)
口積	10.45	k㎡
歳入総額	9,833,911	千円
歳出総額	12,452,359	千円
実質収支	12,334,795	千円
	77,879	千円



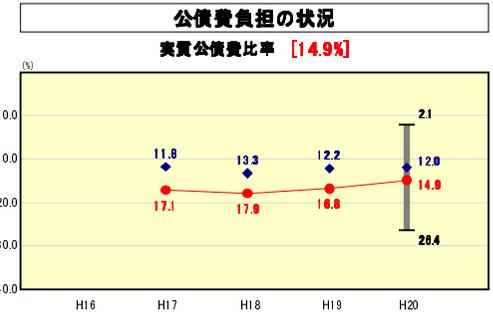
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



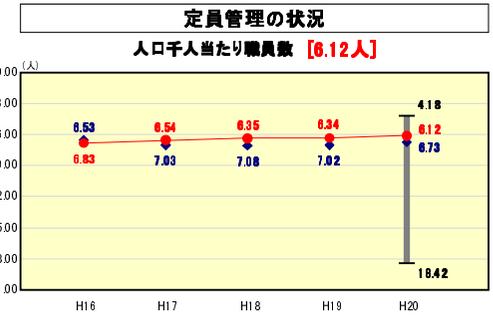
類似団体内順位 140/153  
全国市町村平均 98.4  
全国市町村平均 94.8



類似団体内順位 104/153  
全国市町村平均 100.9  
広島県市町村平均 174.7



類似団体内順位 106/153  
全国市町村平均 11.8  
広島県市町村平均 14.3



類似団体内順位 57/153  
全国市町村平均 7.46  
広島県市町村平均 8.02

## 分析欄

### 【財政力指数】

全国市町村や広島県市町の平均値をかなり上回るとともに、類似団体内の順位は9位と高い水準にあります。平成18年度以降の業績好調による法人町民税の増加等が主な要因となっていますが、昨今の経済情勢を反映し、平成22年度以降は下降する見通しとなっています。

### 【経常収支比率】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均値より高率となっています。平成19年度と比較し、経常経費に充当された一般財源の総額は減少しているものの、それ以上に法人町民税の減少により、一般財源総額が大幅に減少したことが悪化の大きな要因となっています。今後更には、事務の見直しや費用対効果を考慮した事業の重点化を進めます。

### 【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均値より低く、適正な執行状況となっています。今後も引き続き歳出削減に取り組むとともに、「集中改革プラン」に掲げた各種項目について着実に実施します。

### 【ラスパイルズ指数】

類似団体や全国市町村の平均値より上回っています。また、経験年数階層の変動等による職員構成の変動に伴い、前年度より増加しています。国や県の制度を踏まえながら職員給与の適正化に努めます。

### 【将来負担比率】

退職手当負担見込額や一部事務組合負担見込額の減少に伴い、前年度より減少しています。広島県市町の平均値よりは低率なものの、類似団体や全国市町村の平均値よりは高率となっており、今後は計画的な負債額の推移に努めるとともに、財政の健全化を図ります。

### 【実質公債費比率】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均値より高く、実質的な公債費の大きさを示していますが、公債費負担の適正化等により、平成18年度の17.9%をピークにそれ以降は徐々に改善しています。今後とも中長期的な財政見直しを踏まえた計画的な事業執行に努めます。

### 【人口千人当たり職員数】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均職員数のいずれに対しても、少ない職員数となっています。今後も平成17年度に策定した「定員適正化計画」に基づき、効率的な行政運営へ向けて、職員数の適正化に努めます。